

DMG森精機株式会社  
2016年度(1-12月) 第2四半期  
決算説明会

IR Conference  
2016/8/5

**DMG MORI**  
COMPANY LIMITED

# 目次

- 1) DMG MORI AG社との統合加速
- 2) 永久劣後ローンによる資本充実(本日開示)
- 3) 決算概要
- 4) 事業環境
- 5) DMG MORI グループの取組
  - － Technology Cycles
  - － 強力な販売体制
  - － 生産体制の最適化

# DMG MORI AG社との統合加速

## □ Domination, Profit and Loss Transfer Agreement

- ・ AG 株主総会にて圧倒的多数支持 (2016年7月15日)
- ・ 商業登記を経て、効力発生へ (2016年9月中旬頃予定)



### 効果

下記の領域において意思決定・実現の加速

(開発・営業)	製品ラインナップの最適化
(製造)	世界生産能力の最適化
(購買)	規模の経済メリット
(業務)	ITシステム、業務プロセス標準化

# 目次

- 1) DMG MORI AG社との統合加速
- 2) **永久劣後ローンによる資本充実(本日開示)**
- 3) 決算概要
- 4) 事業環境
- 5) DMG MORI グループの取組
  - Technology Cycles
  - 強力な販売体制
  - 生産体制の最適化

# 永久劣後ローンによる資本充実

目的	AG株式取得資金の借り換え
借入先	株式会社みずほ銀行、株式会社三井住友銀行
調達額	400億円
借入実行日	2016年9月20日(8月5日契約締結)
弁済期日	期限の定めなし 但し2021年9月20日以降、任意弁済可能
利率	6ヶ月Tiborをベースとした変動金利 (2026年9月20日以降は、100basis Step-up)
格付機関資本性評価 (株式会社格付投資情報センター)	資本性 50% (クラス3) ※1
IFRSによる会計処理	資本の部「ハイブリッド資本」 400億円
今後、市場環境を考慮し、永久劣後債の発行も検討	

※1 株式会社格付投資情報センターは、ハイブリッド証券の普通株式との類似性の程度を1～5の5段階に分類  
(資本性の目安 クラス1は10%、クラス5は90%)

# 目次

- 1) DMG MORI AG社との統合加速
- 2) 永久劣後ローンによる資本充実(本日開示)
- 3) **決算概要**
- 4) 事業環境
- 5) DMG MORI グループの取組
  - Technology Cycles
  - 強力な販売体制
  - 生産体制の最適化

# 損益計算書

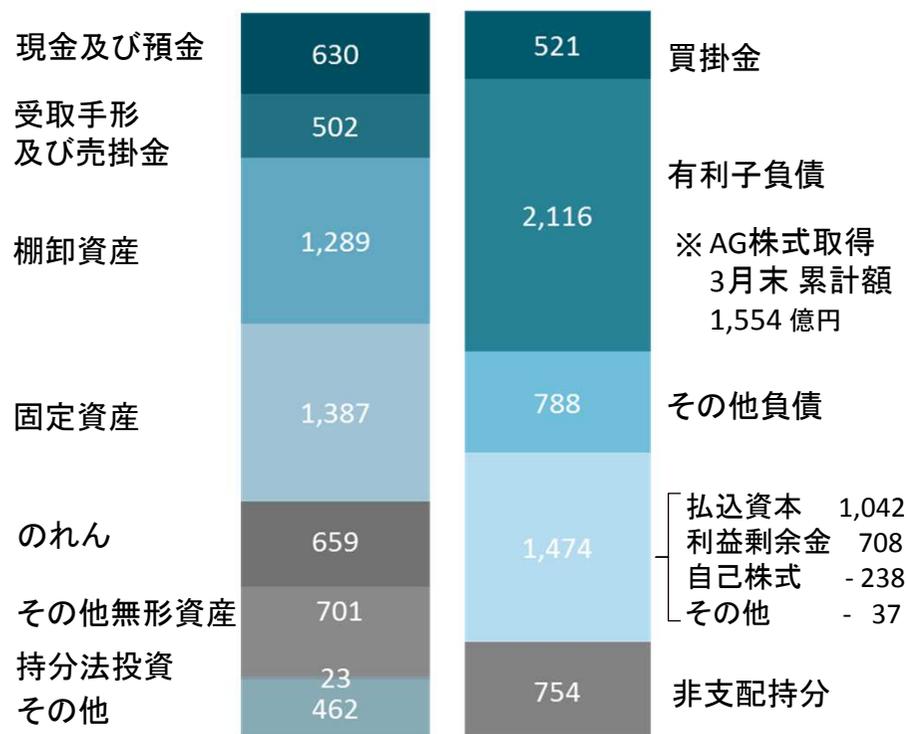
※1 AG利益 60.67% 取り込み  
2016年4月以降は 76.03% 取り込み  
※2 AG利益 52.54% 取り込み

CY2016 (実績) (億円)	1Q (1~3月) 実績	2Q (4~6月) 実績	3Q (7~9月) 見通し	4Q (10~12月) 見通し	通期 (1~12月) 見通し
売上収益	954	899	1. 円高により、国内からの輸出採算悪化 2. 対ユーロ円高により、 ドイツグループ会社の換算目減り発生 3. ドミネーションアグリーメント効力発生後、 諸施策の影響発生 以上、精査中		
営業利益 (営業利益率)	23 2.4%	12 1.3%			
親会社の所有者に帰属する 当期利益	※1 8	-1			
EPS (円) (為替) USD EUR	115.5 127.2	108.2 122.0			
CY2016 (2016/5/10公表) (億円)	1Q (1~3月) 実績	2Q (4~6月) 見通し	3Q (7~9月) 見通し	4Q (10~12月) 見通し	通期 (1~12月) 公表
売上収益	954	950	1,000	1,200	4,100
営業利益 (営業利益率)	23 2.4%	30~40	60~70	130~140	250~260
親会社の所有者に帰属する 当期利益	※1 8	10~20	40~50	70~80	140~150
EPS (円) (為替) USD EUR	115.5 127.2	110.0 125.0	110.0 125.0	110.0 125.0	111.4 125.6
CY2015 (億円)	1Q (1~3月) Proforma	2Q (4~6月) 実績	3Q (7~9月) 実績	4Q (10~12月) 実績	通期 (1~12月) Proforma
売上収益	1,100	961	1,007	1,217	4,284
営業利益 (営業利益率)	100 9.1%	340 35.4%	47 4.7%	-75 -6.2%	411 9.6%
営業利益	100	61	69	130	360
※除く 段階取得差益、事業構造、PPA	9.1%	6.3%	6.9%	10.7%	8.4%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	※2 55	323	7	-61	324
EPS (円) (為替) USD EUR	119.1 134.2	121.4 134.2	122.2 136.0	121.5 133.0	121.1 134.3

# 貸借対照表

2016年3月末

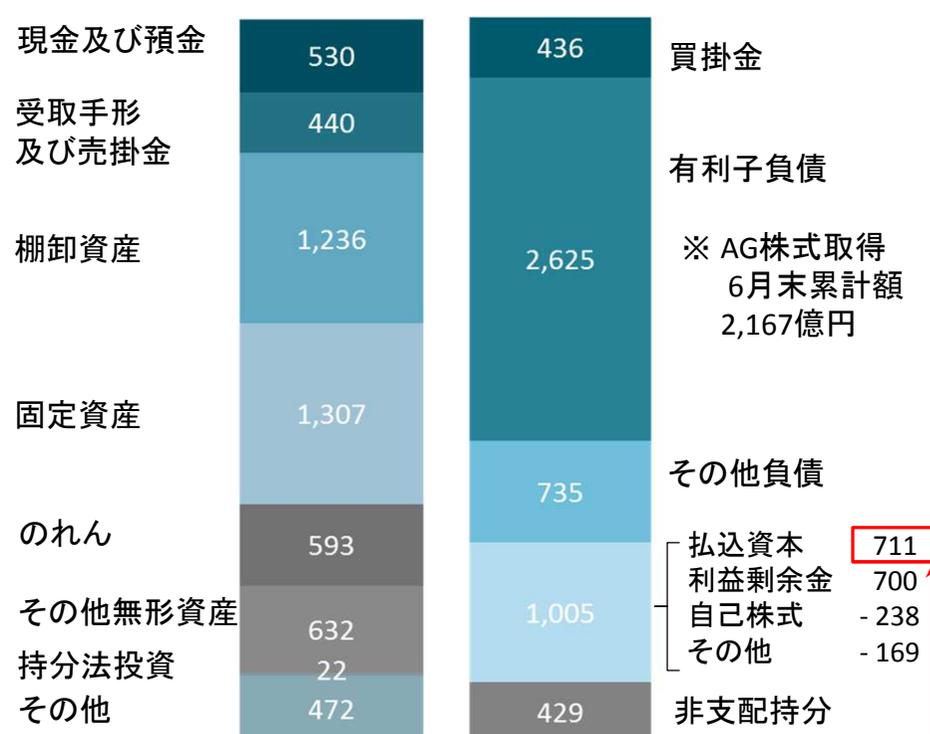
総資産 5,653 億円



Net debt 1,486 億円  
自己資本比率 26.1%

2016年6月末

総資産 5,230 億円



Net debt 2,096 億円  
自己資本比率 19.2%

AG株式追加取得に係る資本の控除額(累積) 456億円

# キャッシュフロー

(億円)	2015年			2016年度		
	4~6月	7~9月	10~12月	1Q 1~3月	2Q 4~6月	下期計画 7~12月
<b>営業活動によるキャッシュフロー</b>	<b>-136</b>	<b>-32</b>	<b>355</b>	<b>-119</b>	<b>-14</b>	<b>400</b>
(内、税引前当期利益)	(337)	(42)	(-82)	(16)	(7)	-
(内、減価償却費及び償却費)	(38)	(40)	(68)	(43)	(41)	-
(内、段階取得に係る差益)	(-373)	(0)	(0)	(0)	(0)	-
(内、運転資金の増減)	(-69)	(-58)	(326)	(-104)	(-83)	-
(内、法人所得税)	(-57)	(-17)	(-28)	(-17)	(-9)	-
<b>投資活動によるキャッシュフロー</b>	<b>-111</b>	<b>-80</b>	<b>-78</b>	<b>-29</b>	<b>-38</b>	<b>-110</b>
(内、固定資産の取得による支出)	(-69)	(-78)	(-98)	(-29)	(-42)	-
<b>財務活動によるキャッシュフロー</b>	<b>430</b>	<b>70</b>	<b>218</b>	<b>-31</b>	<b>18</b>	<b>-</b>
(内、非支配持分からの取得)	(0)	(-225)	(-64)	(0)	(-613)	-
<b>期末の現預金残高</b>	<b>408</b>	<b>357</b>	<b>836</b>	<b>630</b>	<b>530</b>	<b>-</b>

# 目次

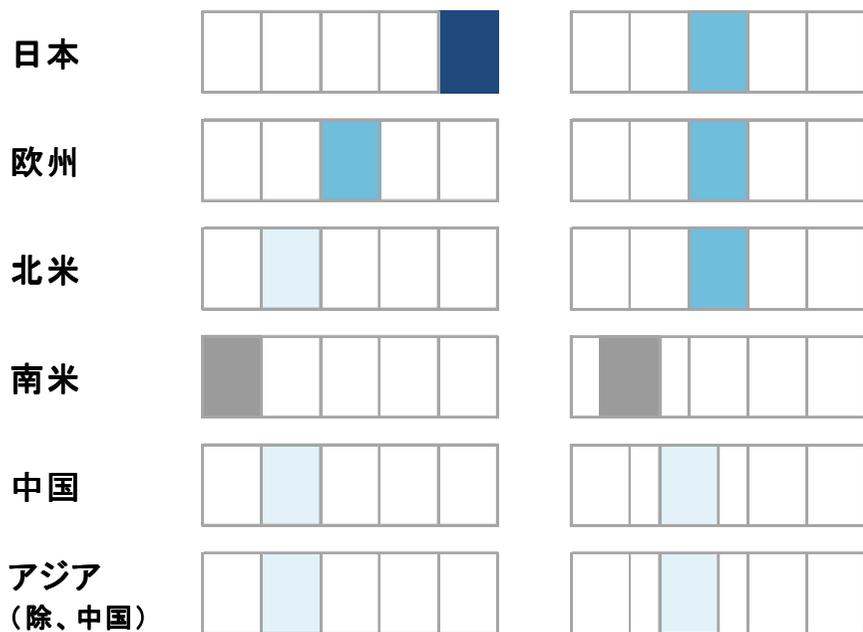
- 1) DMG MORI AG社との統合加速
- 2) 永久劣後ローンによる資本充実(本日開示)
- 3) 決算概要
- 4) 事業環境**
- 5) DMG MORI グループの取組
  - Technology Cycles
  - 強力な販売体制
  - 生産体制の最適化

# 需要概況（地域別、業種別）

## 地域



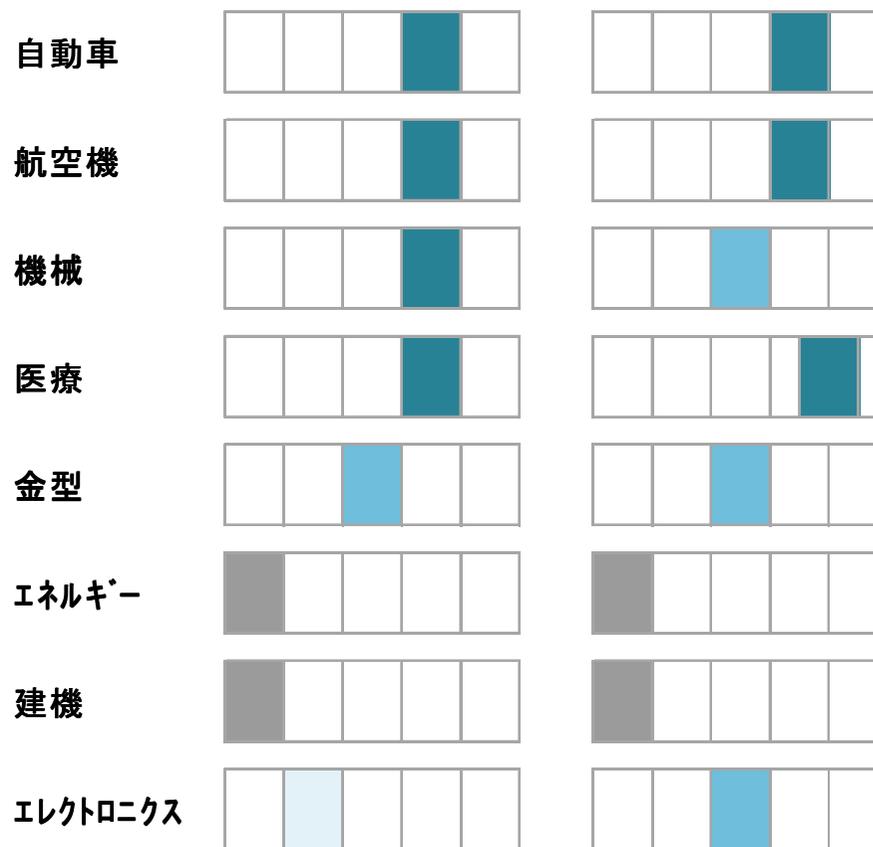
CY2015 → CY2016



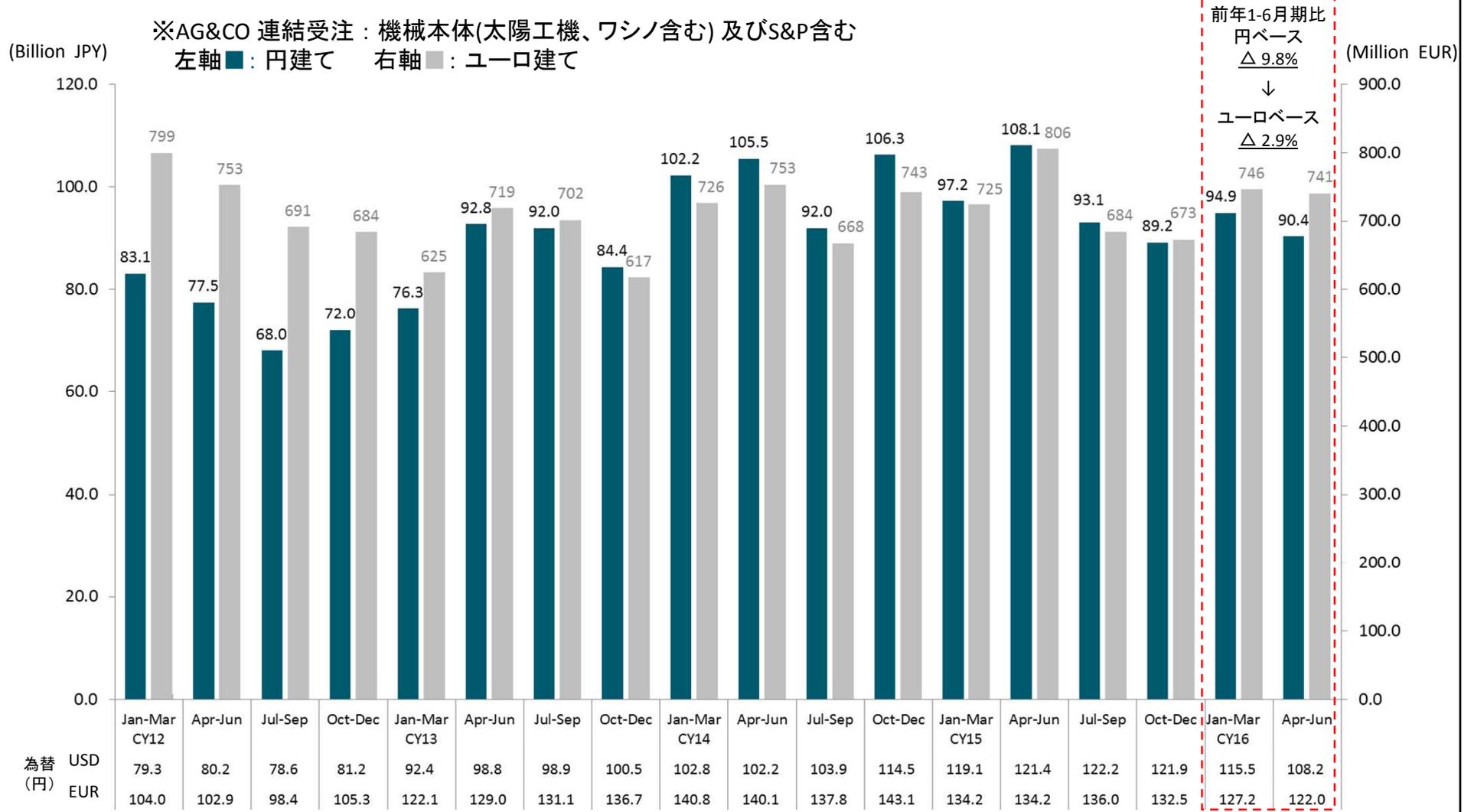
## 業種



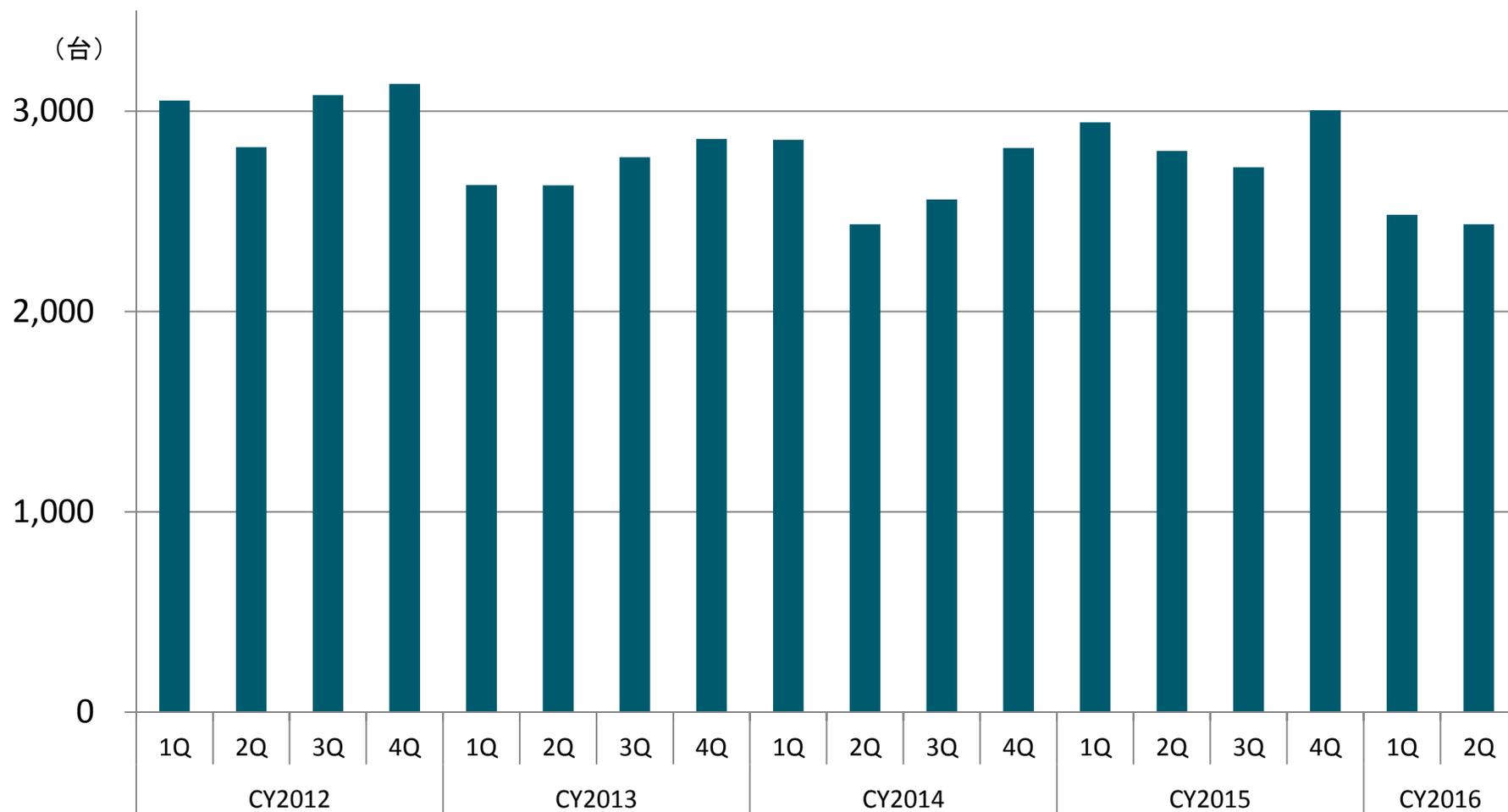
CY2015 → CY2016



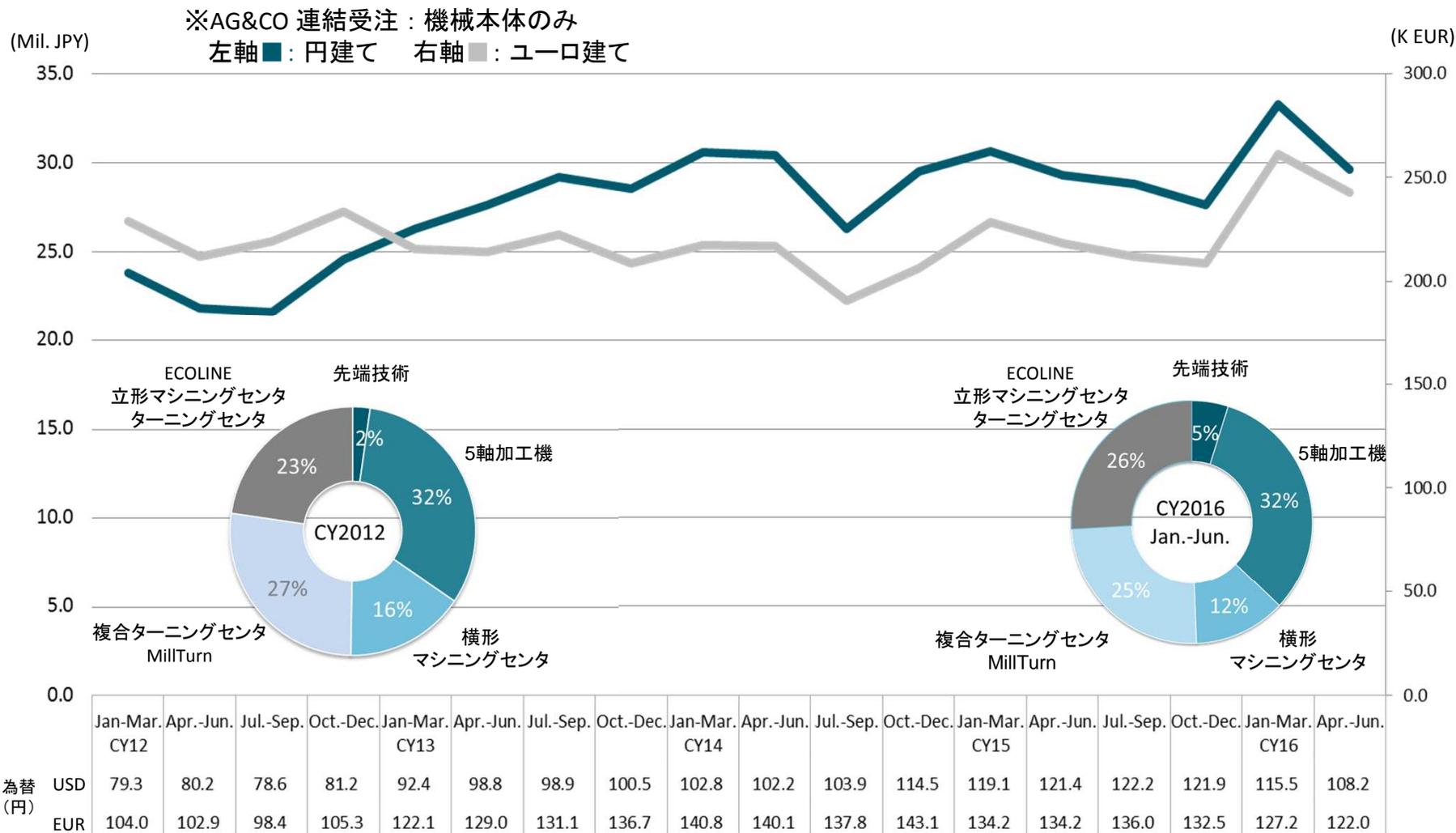
# 四半期連結受注



# 連結生産台数



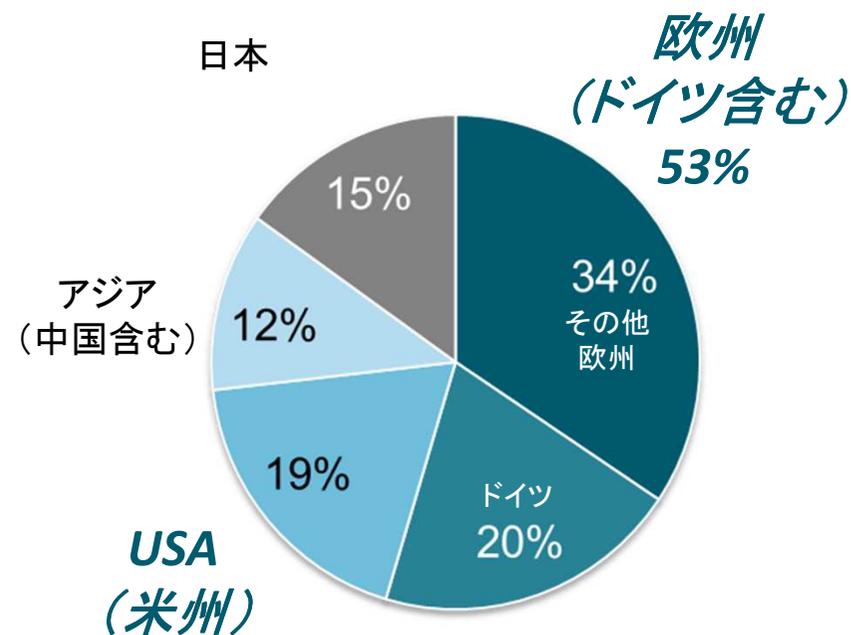
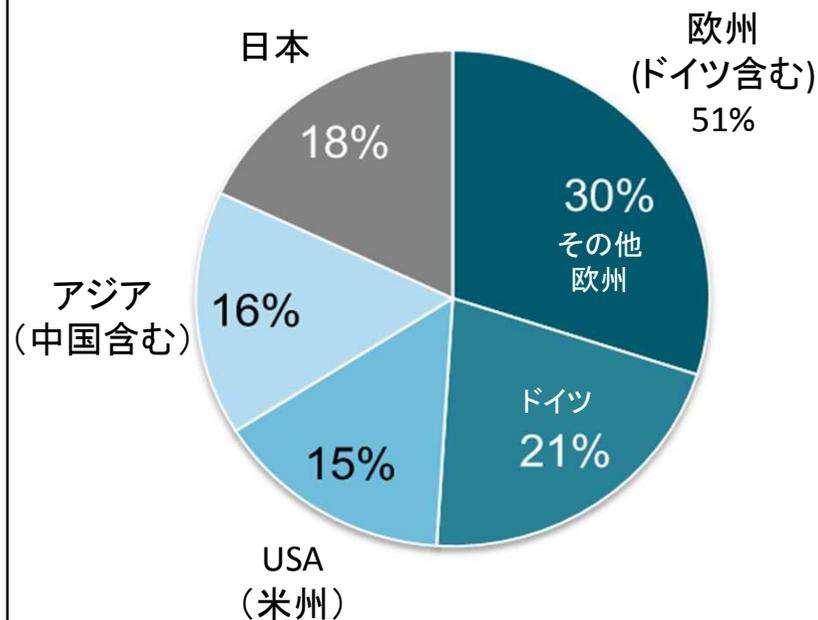
# 連結受注 平均単価



# 地域別受注動向（連結機械受注）

2015年4-12月

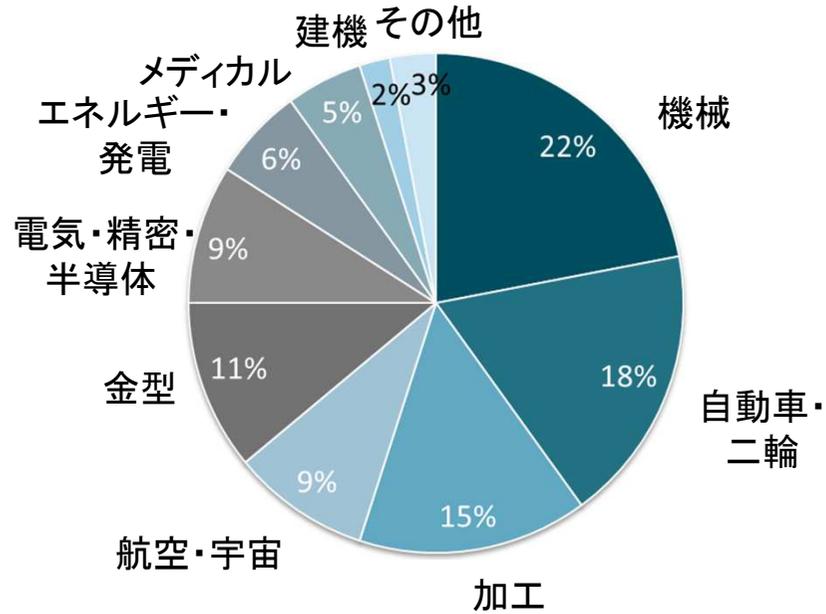
2016年1-6月



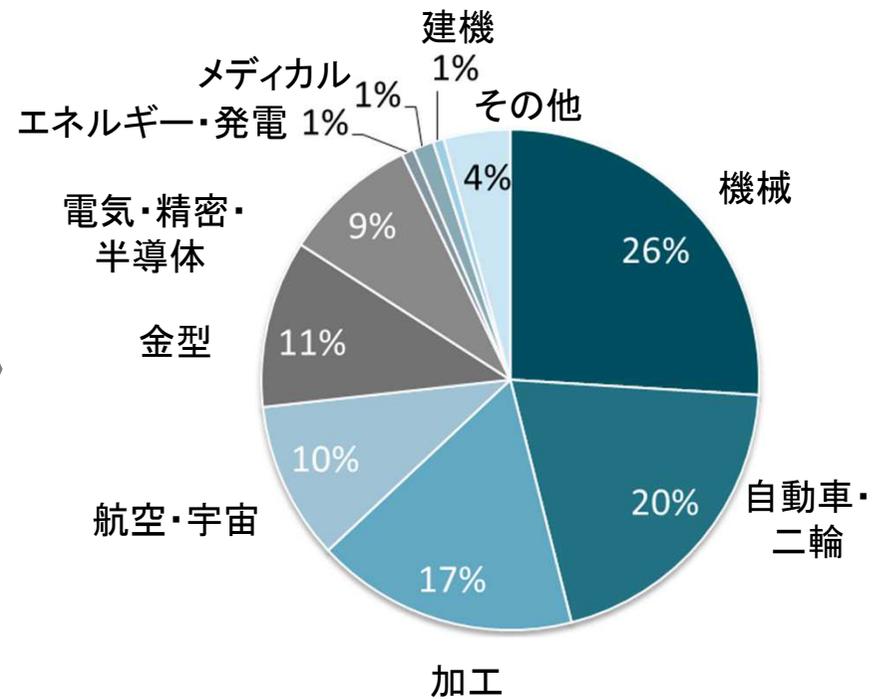
※金額ベース  
※機械本体のみ

# 受注構成(業種別)

2015年7-12月



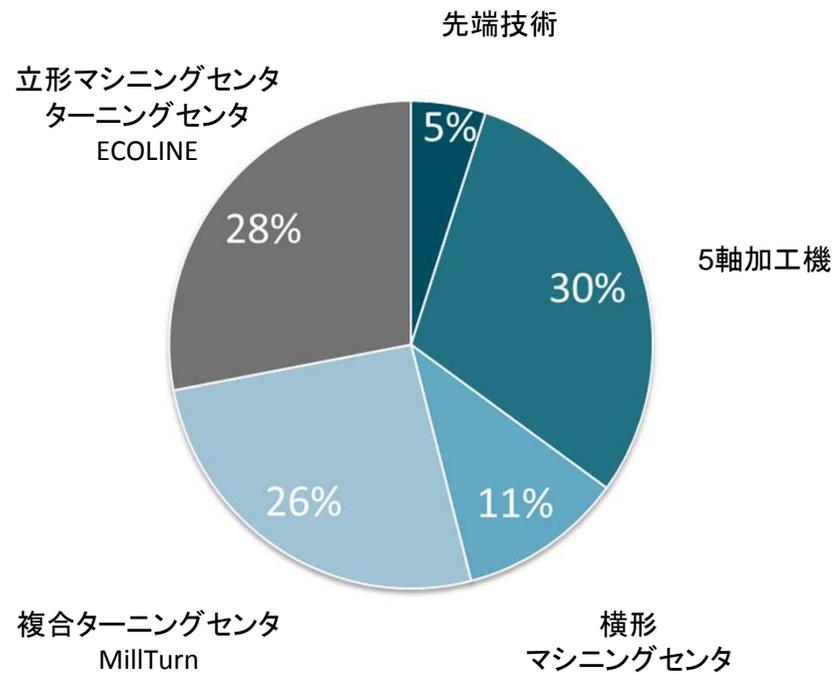
2016年1-6月



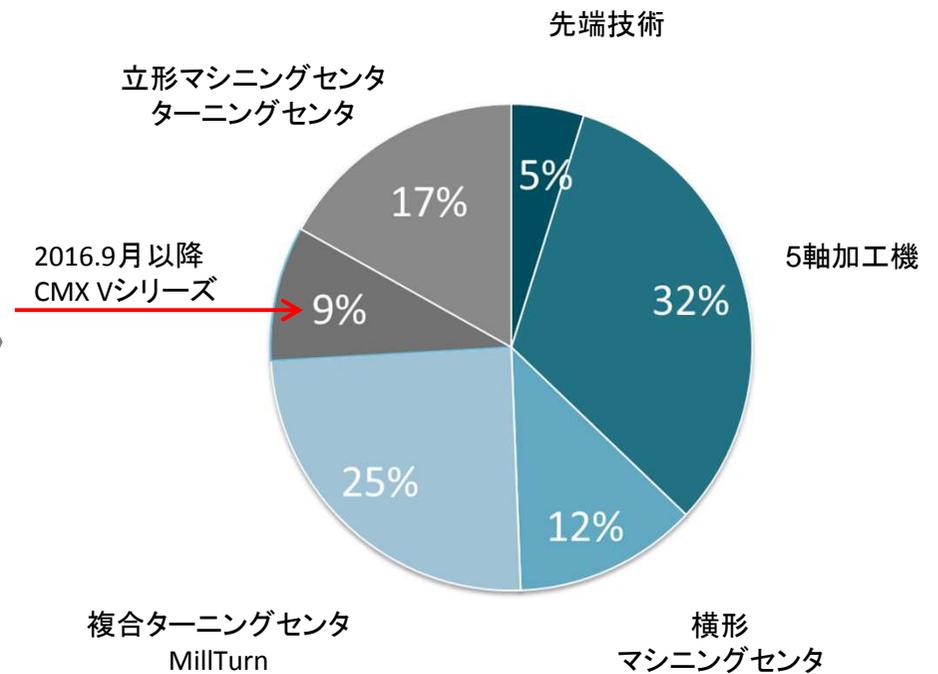
※金額ベース  
※機械本体のみ

# 受注構成(機種別)

2015年4-12月



2016年1-6月



※金額ベース  
※機械本体のみ

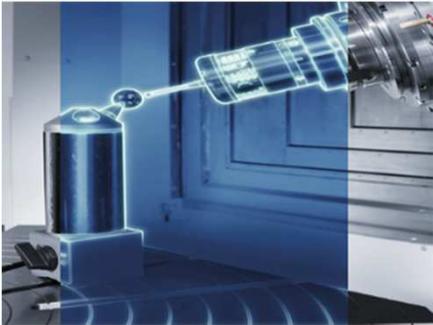
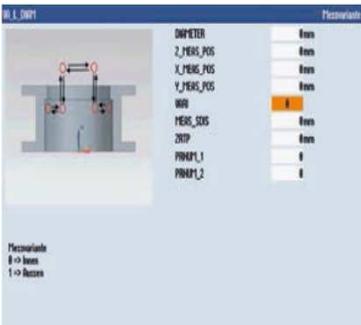
# 目次

- 1) DMG MORI AG社との統合加速
- 2) 永久劣後ローンによる資本充実(本日開示)
- 3) 決算概要
- 4) 事業環境
- 5) **DMG MORI グループの取組**
  - Technology Cycles
  - 強力な販売体制
  - 生産体制の最適化

# Technology Cyclesの拡充

## □ソフトウェア・イノベーションの4フィールド

### DMG MORI 24のTechnology Cycles

	Handling Cycles	Measurement Cycles	Shaping Cycles	Monitoring Cycles
Function	Examples: Loading/unloading and configuration of Pallets, Parts, Tools	Examples: Probing of parts for setting the zero offsets, probing for quality control	Examples: Generation of Geometries on the Part	Examples: Real-time supervision and tuning of the machining process
Examples	Tool Sort Cycle, Steady Rest in Turret Cycle	L-Measurement Probe Cycle	Grinding, Gear Hobbing	ATC, MPC
	 <p>3D quickSET</p>	 <p>L-Measuring</p>	 <p>Grinding</p>  <p>Gear Hobbing</p>	 <p>MPC 2.0</p>

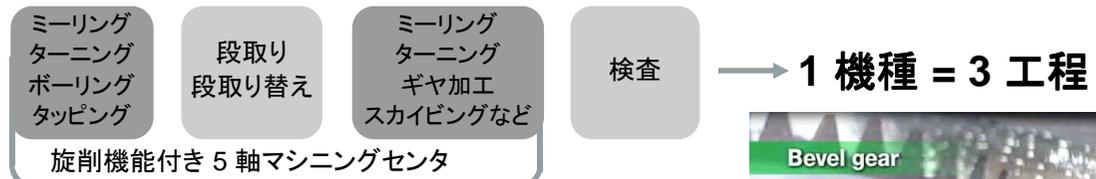
# gearMILL

## - 汎用機による高精度・高効率ギヤ加工

各工程毎の装置、専用機 → 一般的な生産の流れ



gearMILL → 1台で完結



3台 → 1台に  
台数削減

# 工場全体の最適化に対応する自動化システム



# 競争力のある新機種

– Competitive / Customization / Compact

## □ CMX Vシリーズ

全283種類の標準オプション

Technology Cyclesも搭載可能

- ✓ 2016年9月 受注開始  
9月 IMTS(シカゴ) 世界初披露  
11月 JIMTOF(東京) アジア初披露
- ✓ 2017年 1,000台以上生産予定

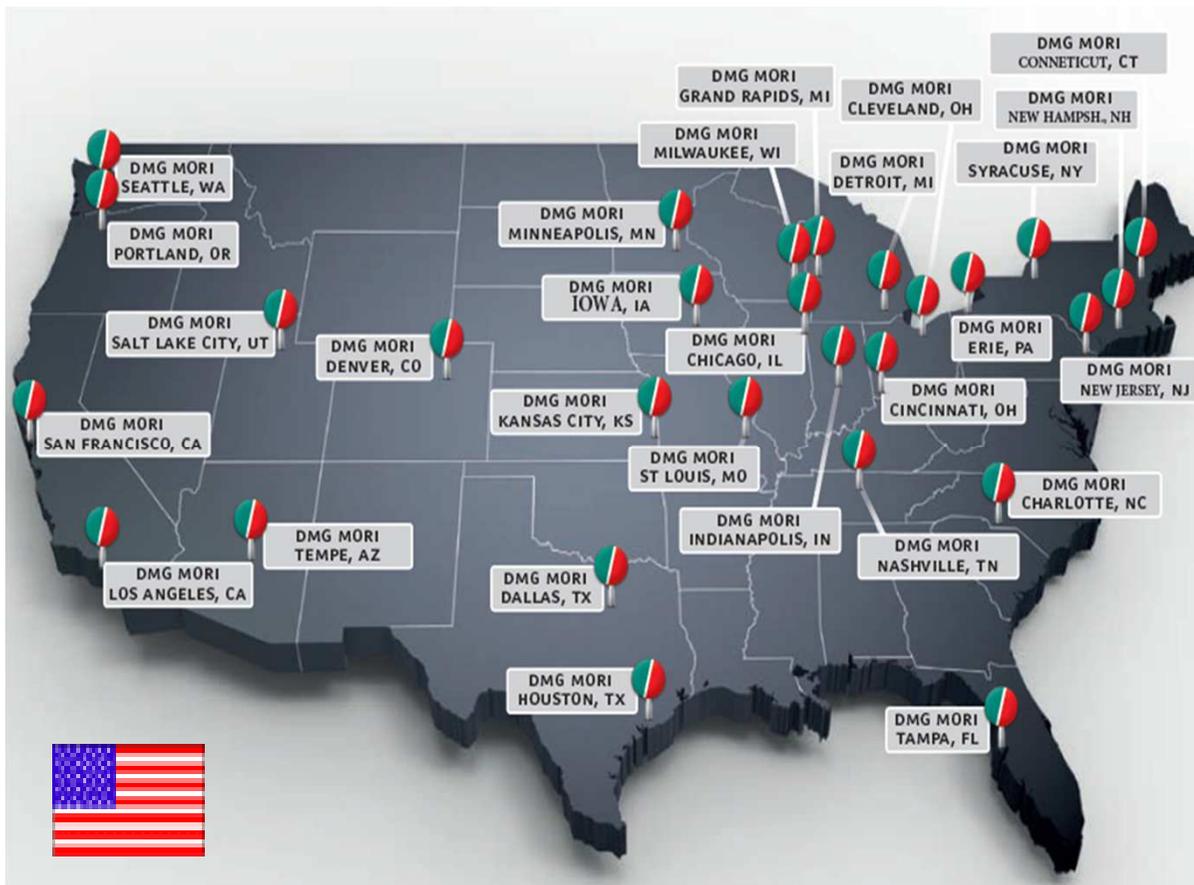


\*標準オプション例



# 北米販社統合完了

□ 100%のマーケットを直販体制でカバー



 テクニカルセンタ

28 拠点

 人員

約800名

<営業・サービス部門>

エリアセールスマネージャー 約100名

サービスエンジニア 約200名

アプリケーションエンジニア 約100名

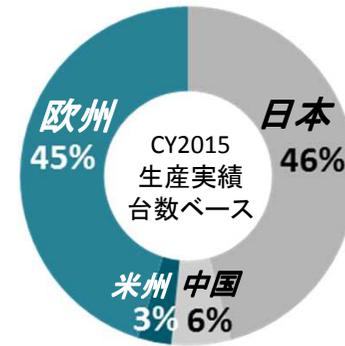
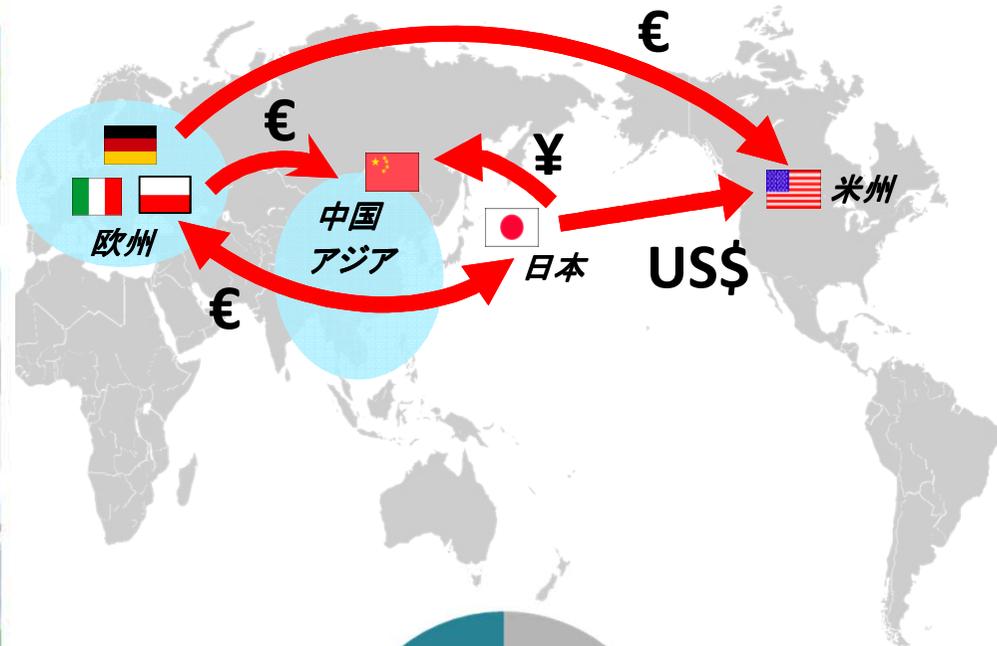
パーツセンタ 約100名

※2016年6月末時点

# 生産拠点を最適化 - 為替変動への柔軟な対応



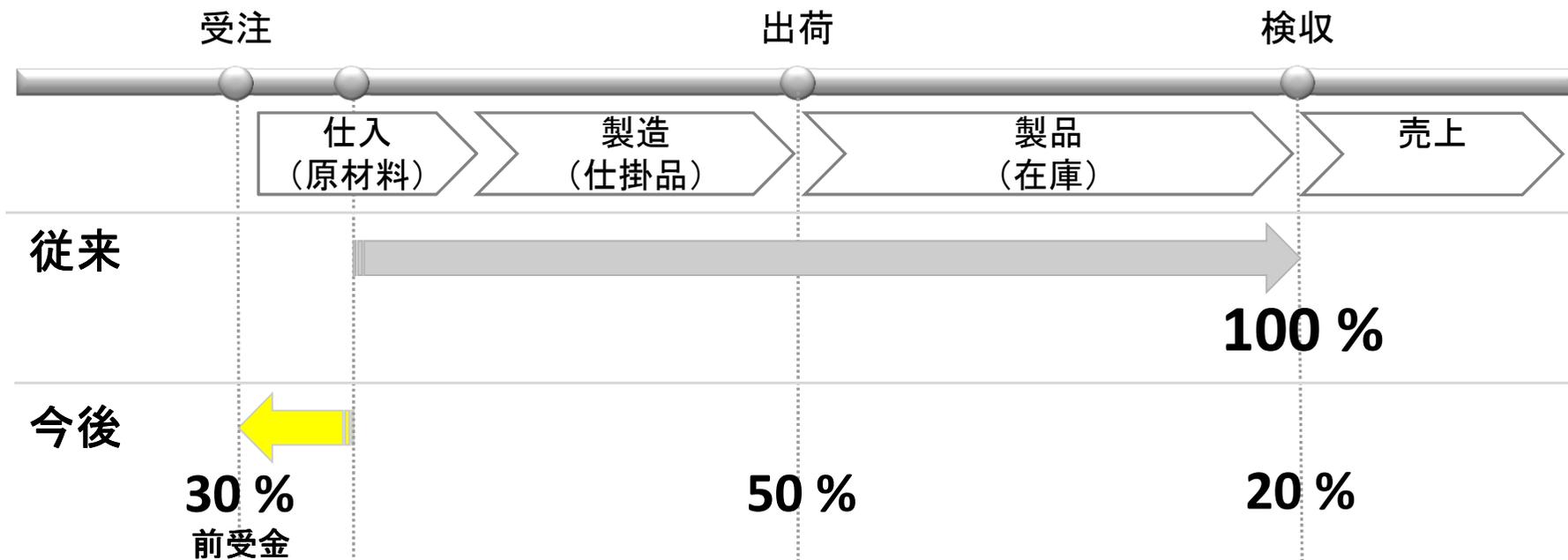
※ 主要生産拠点、他数ヶ所



床面積生産キャパシティ 15,000台/年  
 研究開発、製造、品質管理部門合わせて7,000名の従業員

# キャッシュフロー改善策

## 【代金回収施策】



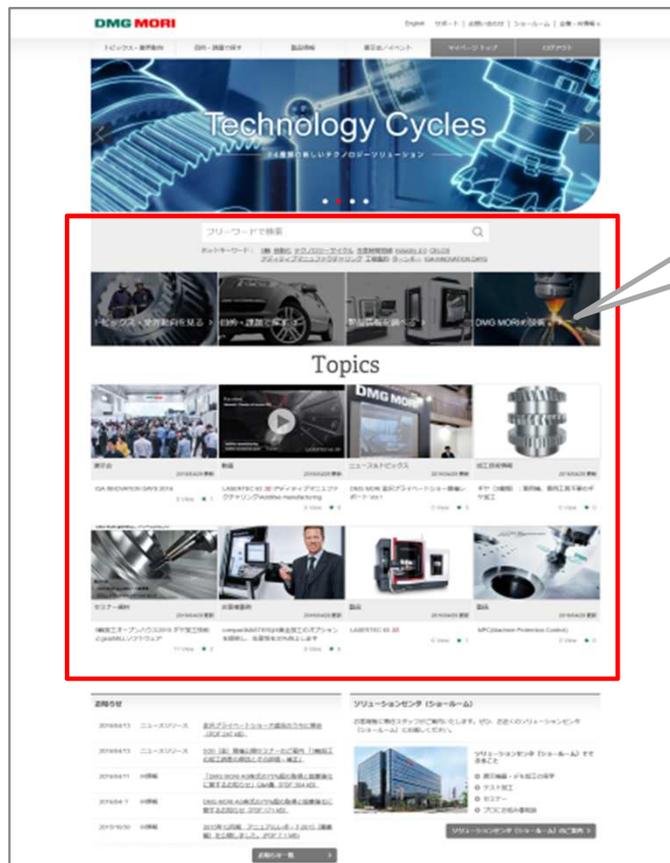
- ✓ DMG MORI : ユーザーに納期・品質をコミット
- ✓ ユーザー : 納期・品質面で安心感

### <期待効果>

- ✓ Win-Win の関係を構築
- ✓ Cash Flowの改善
- ✓ 業界慣行を変革

# DMG MORI ホームページリニューアル（2016年5月～）

□ 業界初のポータルサイト  
ユーザーの加工課題を解決する技術情報を提供



- ① キーワード検索
- ② 目的・課題別検索
- ③ 技術論文・お客様事例を公開
- ④ セミナー情報・業界動向を掲載
- ⑤ 会員向け限定コンテンツを無料公開

✓ ユーザーとの接点の増加  
営業活動に繋げ関係を強化

✓ ブランド価値の浸透  
ユーザーに有用な情報を提供し、  
DMG MORIの技術をアピール



## 公式Facebookのご案内

- 製品・技術情報、展示会・セミナーのご案内など、DMG MORIの様々な最新情報を発信しています



### <アクセス方法>

- ①アカウントお持ちでない方  
アドレスバーに直接URLを入力  
「[www.facebook.com/DMGMORI.CO](http://www.facebook.com/DMGMORI.CO)」
- ②アカウントお持ちの方  
Facebookログイン後 「@DMGMORI.CO」で検索



お待ちしております

# 免責事項

当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいております。

今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。

なお、不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 為替相場の変動
- 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- 当社が営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ
- 独禁法等関連する法規制又はその所轄当局による運用の変更